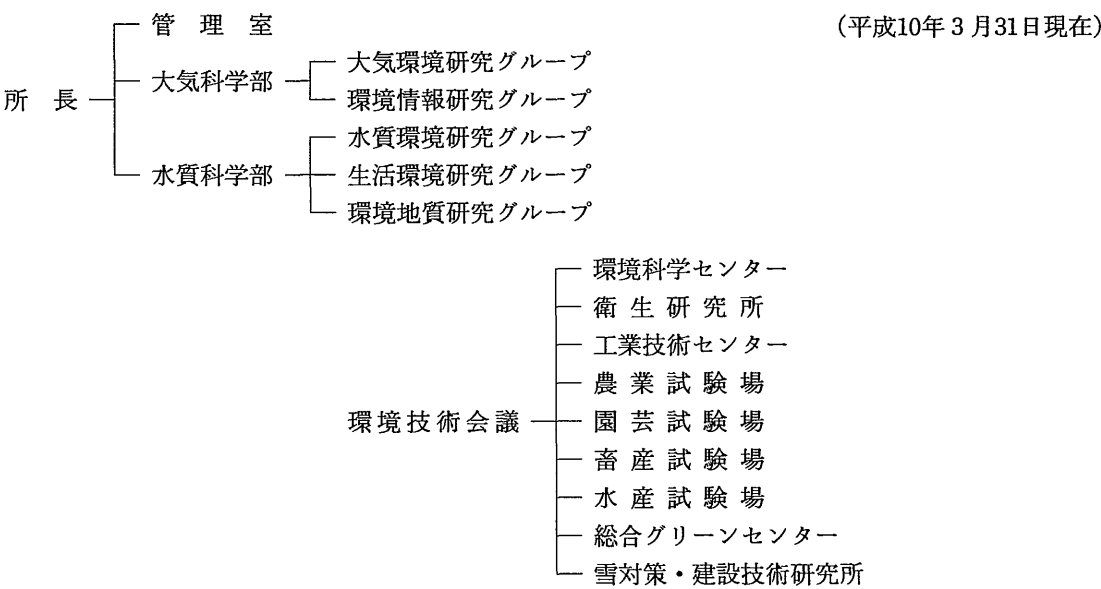


1 環境科学センター概要

1.1 沿革

昭和45年10月1日	大気、水質等の環境監視、工場・事業場等の発生源監視と公害防止施策に必要な科学的情報、資料を行政機関に提供する調査・研究機関として、「福井県公害センター」が設置された。 当初の組織構成は調整指導と調査研究の2課からなり、職員6名で衛生研究所庁舎内に設置された。
昭和46年6月	県内における公害の未然防止を図るため、福井県公害防止条例が制定され、職員は13名となり本格的に公害の調査・研究を推進することになった。
昭和47年11月	現在地に新庁舎が完成し、同庁舎で業務を開始した。
昭和48年4月	組織改正により、調整指導、大気、水質の3課となり、組織の拡充と強化がなされた。
昭和49年8月	公害中央監視局が完成し、逐次、各観測局が整備された。
昭和50年4月	大気汚染監視テレメータシステムの業務が開始された。
昭和55年4月	組織改正により、総務、大気、水質、環境監視の4課制となり、公害の調査・研究機関としての組織体制が整備された。
平成2年10月	創立20周年を迎え、記念講演会の開催、創立20周年記念号の発刊等を行った。
平成3年5月15日	名称を「福井県環境センター」と改めた。 都市生活型公害、地下水汚染あるいは新たな化学物資による環境汚染、さらに酸性雨、地球温暖化、オゾン層の破壊などの地球規模的な環境問題など、多方面にわたる環境問題に積極的に対応するため、総務、大気、水質、生活環境、環境情報の5課制とし、組織の拡充と強化がなされた。
平成7年5月15日	名称を「福井県環境科学センター」と改めた。 機構改革により管理室、大気科学部、水質科学部の1室2部、5班制となった。
平成9年4月1日	機構改革により、5班制を5グループ制と改めた。

1.2 機構



1.3 業務内容（平成10年3月31日現在）

管 理 室

1. 庶務に関すること。
2. 環境教育、学習の推進に関すること。
3. 公害の苦情、相談の処理に関すること。
4. 市町村、他試験研究機関との連絡調整に関すること。
5. 部、グループに属しないこと。

大気環境研究グループ

1. 大気環境調査研究の企画調整に関すること。
2. 大気環境技術の研修に関すること。
3. 地球環境保全の調査研究に関すること。
4. 大気汚染物質の測定、調査研究に関すること。
5. 悪臭物質の測定、調査研究に関すること。
6. 騒音、振動の測定、調査研究に関すること。

環境情報研究グループ

1. テレメータシステムによる大気汚染常時監視に関すること。
2. 大気環境測定車による監視に関すること。
3. 大気汚染の予警報、気象情報の収集に関すること。
4. 環境情報の提供に関すること。
5. 大気汚染の予測解析、監視測定技術の調査研究に関すること。
6. 環境情報システム、環境影響評価の調査研究に関すること。

水質環境研究グループ

1. 水質環境調査研究の企画調整に関すること。
2. 水質環境技術の研修に関すること。
3. 河川等の汚濁測定、調査研究に関すること。
4. 工場、事業場等（河川）の水質汚濁物質測定、調査研究に関すること。
5. 河川汚濁解析の調査研究に関すること。
6. 水生生物環境指標技術の調査研究に関すること。

生活環境研究グループ

1. 生活排水汚濁の調査研究に関すること。
2. 湖沼、海域等の汚濁物質測定、調査研究に関すること。
3. 湖沼富栄養化解析の調査研究に関すること。
4. 湖沼富栄養化防止技術の調査研究に関すること。
5. 工場、事業場等（湖沼・海域）の水質汚濁物質測定、調査研究に関すること。

環境地質研究グループ

1. 地下水汚染の測定、調査研究に関すること。
2. 農薬汚染の測定、調査研究に関すること。
3. 底質、土壌汚染物質の測定、調査研究に関すること。
4. 地盤沈下の調査研究に関すること。
5. 有害化学物質の測定、調査研究に関すること。

1.4 人 員

区 分	人 員	内 訳							
		所長	室長・部長	管理室	大 気 科 学 部		水 質 科 学 部		
					大気環境研究グループ	環境情報研究グループ	水質環境研究グループ	生活環境研究グループ	環境地質研究グループ
事務吏員	5(5)		1(1)	4(4)					
技術吏員	23	1	2		4	4	5	4	3
運 転 手	1(1)			1(1)					
臨 補	1			1					
計	30(6)	1	3(1)	6(5)	4	4	5	4	3

注：()は兼務職員数を示す。

(平成10年3月31日現在)

1.5 業務分担

所 属 名		職 員	氏 名	主 な 業 務	備 考
		所 長	稲 津 悦 朗		
管 理 室		室 長	野 村 建 二 六	室内の総括	本務衛生研究所
		室長補佐	半 澤 政 章	出納員	〃
		主 任	中 村 洋 子	予算、会計	〃
		企画主査	細 江 康 正	会計、管理	〃
		主 事	高 島 政 子	庶務、会計	〃
		運 転 手	山 田 要 一	運転業務、車両整備	〃
		事務補助員	青 木 節 子	文献等整理、庶務補助	
大 気 科 学 部		部 長	宮 永 信 幸		
	大 気 環 境 研 究 グ ル ー プ	総括研究員	石 田 幸 洋	グループの総括	
		主任研究員	落 井 勅 一	有害物質調査	
		〃	植 山 洋 善	悪臭物質調査	
	環 境 情 報 研 究 グ ル ー プ	主任研究員	宇 都 宮 高 栄	グループの総括	
		〃	八 幡 仁 志	環境情報システム開発研究	
		研 究 員	山 田 克 則	環境情報ネットワーク研究	
水 質 科 学 部		部 長	内 田 利 勝		
	水 質 環 境 研 究 グ ル ー プ	総括研究員	荒 井 彦 左 門	グループの総括	
		主任研究員	坊 栄 二	河川調査	
		〃	長 谷 川 耕 治	水生生物調査	
		〃	坪 川 博 之	都市河川調査	
	生 活 環 境 研 究 グ ル ー プ	主任研究員	石 倉 誠 司	事業所調査	
		総括研究員	白 崎 健 一	グループの総括	
		主任研究員	加 藤 賢 二	湖沼汚濁解析調査	
	環 境 地 質 研 究 グ ル ー プ	研 究 員	片 谷 千 恵 子	プランクトン調査	
		〃	松 崎 雅 之	アオコ除去技術開発	
		主任研究員	山 口 慎 一	グループの総括	
		技 師	次 田 啓 二	地下水汚染調査	
			西 澤 憲 彰	農業調査	

(平成10年3月31日現在)

1.6 人事記録

年 月 日	職 名	氏 名	事 項	年 月 日	職 名	氏 名	事 項
10. 4. 1	所 長	宮 永 信 幸	部長から昇格	10. 4. 1	所 長	稲 津 悦 朗	県民生活部付
"	部 長	久 嶋 鉄 郎	環境政策課から転入	"	総括研究員	荒井 彦左エ門	環境政策課へ転出
"	総括研究員	飯 田 雅 子	生活科学センターから転入	"	主任研究員	宇都宮 高 栄	生活科学センターへ転出
"	"	高 田 敏 夫	環境政策課から転入	"	"	長谷川 耕 治	県立病院へ転出
"	主任研究員	片 谷 千恵子	研究員から昇格	"	"	山 口 慎 一	環境政策課へ転出
"	室長補佐	岩 崎 正 幸	監理課から転入	"	室長補佐	半 澤 政 章	衛生指導課へ転出
"	研 究 員	森 英 倫	環境政策課から転入	"	研 究 員	吉 川 昌 範	環境政策課へ転出
"	技 師	熊 谷 宏 之	環境政策課から転入	"	主 事	高 島 政 子	教育庁へ転出
"	"	前 田 和 宏	新採用	"	運 転 手	山 田 要 一	退職
"	主 事	竹 内 寿 恵	県立大学から転入				
"	運 転 手	前 川 恵 一	新採用				

1.7 予 算

平成9年度歳出決算書（一般会計）

科 目	予算令達費	支出 済 額	不用額	明 細				備 考
				節	予算令達額	支出 済 額	不用額	
(款)衛 生 費	206,191,730	206,191,730	0					
(項)環 境 衛 生 費	206,191,730	206,191,730	0					
(目)環境衛生総務費	1,066,998	1,066,998	0	旅 費	14,000	14,000	0	
				需 用 費	867,000	867,000	0	
				消 耗 品 費	867,000	867,000	0	
				使用料及び賃借料	18,000	18,000	0	
				備 品 購 入 費	167,998	167,998	0	
(目)公 害 対 策 費	205,124,732	205,124,732	0	共 済 費	1,054,188	1,054,188	0	
				賃 金	3,917,200	3,917,200	0	
				報 償 費	1,948,731	1,948,731	0	
				旅 費	4,745,087	4,745,087	0	
				需 用 費	53,991,239	53,991,239	0	
				消 耗 品 費	32,284,539	32,284,539	0	
				燃 料 費	458,086	458,086	0	
				食 糧 費	213,251	213,251	0	
				印 刷 製 本 費	918,000	918,000	0	
				光 熱 水 費	3,334,812	3,334,812	0	
				修 繕 料	16,782,551	16,782,551	0	
				役 務 費	2,400,499	2,400,499	0	
				通 信 運 搬 費	892,000	892,000	0	
				手 数 料	1,508,499	1,508,499	0	
				委 託 料	47,123,099	47,123,099	0	
				使用料及び賃借料	25,025,667	25,025,667	0	
				備 品 購 入 費	64,269,422	64,269,422	0	
				負担金補助及び交付金	649,600	649,600	0	
(款)商 工 費	422,000	422,000	0					
(項)鉱 工 業 費	422,000	422,000	0					
(目)中小企業振興費	422,000	422,000	0	需 用 費	422,000	422,000	0	
				消 耗 品 費	422,000	422,000	0	
(款)土 木 費	750,000	750,000	0					
(項)土 木 管 理 費	750,000	750,000	0					
(目)土 木 総 務 費	750,000	750,000	0	需 用 費	750,000	750,000	0	
				消 耗 品 費	750,000	750,000	0	
合 計	207,363,730	207,363,730	0		207,363,730	207,363,730	0	

1.8 備品整備状況

1.8.1 平成9年度 購入備品

備 品 名	メ ー カ ー 名	型 式	台 数	備 考
試 料 前 処 理 装 置	マ イ ル ス ト ン	MSL-1200 MEGA	1	新 規
大気中揮発性有機化合物分析装置	島 津 製 作 所	QP 5050 A	1	新 規
大 気 採 取 装 置 ・ 前 処 理 装 置	ジーエルサイエンス、パーキンエルマー	ATD 400 等	1 式	新 規

1.8.2 主な備品整備状況

備 品 名	メ ー カ ー 名	型 式	台 数
ガスクロマトグラフ質量分析装置	島 津 製 作 所	QP3000	1
〃	横河アナリティカルシステム	HP-5972A	1
重 油 硫 黄 量 測 定 装 置	田 中 科 学 機 器	RX-500SA	1
1/3オクターブ実時間分析器	リ オ ン	SA-27	1
緩 衝 能 測 定 装 置	東 亜 電 波	AUT-301 β	1
分 光 光 度 計	日 立 堀 場	100-50	1
〃	〃	U-3500	1
赤 外 分 光 光 度 計	島 津 製 作 所	IR-470	1
蛍 光 分 光 光 度 計	日 本 分 光	FP-550A	1
原 子 吸 光 光 度 計	日本ジャーレルアッシュ	AA-890	1
ICP発光分光分析装置	パ ー キ ン エ ル マ ー	OPTIMA3000XL	1
水質自動測定器オートアナライザー	A L P K E M	フローソリューション3590	1
粒 度 分 布 測 定 器	島 津 製 作 所	SA-CP2	1
A T P フ ォ ト メ ー タ	ピ コ ラ イ ト	6100	1
ガ ス ク ロ マ ト グ ラ フ	島 津 製 作 所	GC-14BPF	1
〃	柳 本 製 作 所	GC-3800W	1
〃	島 津 製 作 所	GC-14APF	1
高 速 液 体 ク ロ マ ト グ ラ フ	〃	LC-10A	1
イ オ ン ク ロ マ ト グ ラ フ	横河アナリティカルシステム	IC-7000D/Z	1
全 有 機 炭 素 分 析 計	ジャスコインターナショナル	OIC-524C	1
水 銀 分 析 装 置	日本インスツルメンツ	マーキュリーSP-3D	1
藻 類 培 養 試 験 器	伊 藤 製 作 所	AGP150RL	1
〃	〃	AGP126L	2
煙 道 排 ガ ス 測 定 装 置	石 橋 科 学	NG-Z-4D	1
発生源用水銀捕集分析装置	日本インスツルメンツ	AM-2	1
可 搬 型 微 風 向 風 速 計	横 河 ウ ェ ザ ッ ク	ウェザーサーベイ	1
光 学 顕 微 鏡	オ リ ン パ ス	BHS-323	1
微 分 干 渉 顕 微 鏡	〃	BHS-373	1
倒 立 型 シ ス テ ム 顕 微 鏡	〃	IMT-2	1

1.9 研 修

1.9.1 研修・視察受入

(1) 福井医科大学の環境保健学実習

環境保健学の実習の一環として、6名の学生を対象に9週間にわたって、当環境科学センターにおいて講義および実習を行った。

① 第1週(4月18日)

(環境保全研修)

講義：環境行政全般と今後の課題について

② 第2週(4月25日)

(環境保全研修)

講義：大気汚染、水質汚濁、地球環境問題への取り組み等、環境各論について

実習：簡易測定法による福井医科大周辺の窒素酸化物の測定

③ 第3週(5月2日)

(大気保全研修)

講義：酸性雨の現状と対策について

大気汚染、酸性雨の植物への影響について

実習：悪臭の感覚測定

④ 第4週(5月9日)

(大気監視モニタリング研修)

講義：大気汚染監視テレメーターシステムおよび環境情報システムについて

自動測定機等の概要について

見学：「北陸電力(株)福井火力発電所」排煙脱硫装置

⑤ 第5週(5月16日)

(水質保全研修)

講義：水質の簡易測定法ならびに水生生物評価方法について

実習：簡易水質測定実施の計画立案と現地確認

⑥ 第6週(5月23日)

(水質保全研修)

実習：現地調査および分析、同定

⑦ 第7週(5月29日)

(大気保全研修、水質保全研修)

実習：実験データの整理

⑧ 第8週(6月6日)

(悪臭測定研修)

実習：現地サンプリングならびに嗅覚測定法による悪臭測定

⑨ 第9週(6月13日)

質疑応答およびとりまとめ

(2) 市町村職員

対象者：鯖江市生活環境課 主査 古村 徹
三谷 曜子

期 間：平成9年6月23日～7月31日

内 容：GC-MS分析技術、生活環境項目の分析技術

(3) 県外団体

対象者：(株)兵庫県計量協会環境計量証明部会

期 日：平成9年10月17日

内 容：業務説明・施設見学

重油流出事故関連の調査

(4) 三方五湖保全対策協議会視察研修

対象者：協議会委員

期 日：平成10年2月2日

内 容：業務説明・施設見学

湖沼水質保全に関する調査研究「三方五湖の水質汚濁の現状とアオコ発生機構」等について

1.9.2 研修会

(1) 市町村環境担当職員技術研修会

平成10年3月13日(金) 10:00～16:00

福井県環境科学センター会議室で実施し、6市8町16名が出席した。

研修内容

① 悪臭防止法および福井県公害防止条例による悪臭規制について

② 嗅覚測定の実習

(2) 環境保全技術研修会

県・市町村環境保全担当職員ならびに県内事業所の公害防止管理者を対象に実施した。

①開 催 日 平成9年11月28日(金)

13:30～16:00

②会 場 福井県生活学習館 映像ホール

③講 師 MKエコテクノロジー研究所

所長 森川 徹夫氏

④演 題 「環境マネジメントシステム構築の実際について」

⑤講演要旨 今日、環境管理や監査への取り組みが、行政や事業者の役割として求められており、その取り組みを進める際の一助として、具体的な事例を紹介いただき環境マネジメントシステムの実際面について講演を賜った。

⑥参加人数 102名

1.10 教育・啓発

1.10.1 ふくい環境展

環境月間の行事として、県および福井市の主催で実施した「ふくい環境展」に、下記内容の当センターのコーナーを設けて協力した。

期 間：平成9年6月3日～9日

場 所：ショッピングセンター・ピア 3階催事場

テーマ：「広げよう やさしい 配慮を 環境に」

コーナー内容：

水生生物の標本展示、マープリング等による水質の簡易測定、みどりネットの紹介、大気環境測定車の公開等

1月18日 鷹巣支店 40名
1月22日 酒生支店 40名
1月25日 一乗支店 50名

1.10.2 移動環境教室

移動環境教室は、人間と環境との係わりについての理解と認識を深め、責任ある行動がとれるように、学校で学習するのに必要な情報を提供するために、平成3年度より実施している。9年度は次の14小学校において実施した。

(1) 実施学校名

10月31日	三室小学校	4～6年生	46名
11月4日	乾側小学校	3～6年生	33名
11月5日	高椋小学校	5～6年生	94名
11月5日	長畝小学校	5～6年生	83名
11月6日	森目小学校	3～6年生	27名
11月6日	有終南小学校	5～6年生	103名
11月7日	伊井小学校	5～6年生	50名
11月11日	片上小学校	3～6年生	80名
11月11日	磯部小学校	5～6年生	103名
11月12日	春江西小学校	4～5年生	70名
11月13日	下宇坂小学校	4～6年生	48名
11月14日	河和田小学校	4～5年生	121名
11月14日	南中山小学校	4～6年生	148名
11月27日	西藤小学校	3年生	39名

(2) 実施内容

- ①ビデオ「未来への約束」等の視聴
- ②パネル「大気汚染のしくみ」等の説明
- ③大気環境測定車「みどり号」の説明
- ④電気自動車「みどり号ミニ」の説明
- ⑤環境簡易調査の実施
- ⑥質疑応答

1.10.3 講師派遣

(1) 河川環境美化親子教室

講師：水質科学部 部長 内田利勝
依頼者：大野市生活環境課
対象：大野市内の小学6年生と保護者
内容：「家庭のできる生活雑排水対策等について」
水質簡易測定の実習
期日：平成9年7月6日 下庄小学校 100名
8月9日 有終西小学校 70名

(2) 福井市農業協同組合女性部環境問題学習会

講師：大気科学部 部長 宮永信幸
依頼者：福井市農業協同組合女性部
対象：女性部員
内容：「ダイオキシンと環境問題」
期日：平成10年1月9日 六条支店 60名

1.10.4 環境情報コーナー利用・施設見学

県政バス、親子環境教室、グループ活動等による環境情報コーナーなどの利用者数は329名であった。

1.11 会議等

1.11.1 福井県環境技術会議

県の9試験機関長で構成する本会議は、環境保全に関する総合的な調査研究および環境科学センターが行う技術的業務の円滑な推進を図ることを目的とし、本年度は以下のとおり開催した。

平成10年3月9日(月) 13:30～15:30

国際交流会館 第一会議室

【議題】

- (1) 平成10年度環境関係事業について
- (2) 最近の環境問題・調査研究等について
 - ①飲料水の安全性に関する衛生化学的研究〈衛生研究所〉
 - ②染色排水中の有害金属について〈工業技術センター〉
 - ③土壌環境基礎調査等〈農業試験場〉
 - ④水生植物による水質浄化能等〈園芸試験場〉
 - ⑤家畜ふん尿処理無臭化還元技術確立事業等〈畜産試験場〉
 - ⑥N号油流出事故に係わる水産影響調査〈水産試験場〉
 - ⑦国道158号線小和清水トンネルおよび福井駅周辺整備事業のCG作成による景観検討〈雪対策・建設技術研究所〉
 - ⑧有害大気汚染物質監視調査等〈環境科学センター〉

1.11.2 所内研究発表会

環境科学センター・衛生研究所・原子力環境監視センター・食肉衛生検査所の第26回合同研究発表会を実施した。

平成10年2月18日(水) 9:30～15:30

環境科学センター 会議室

研究発表等演題の総数は12で、そのうち当環境科学センターは5題発表した。(学会および誌上発表抄録に記載)